

発行責任者：川端 健
編集責任者：角尾 隆

HEADLINE

- JCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)特集
 - ・プルトップ募金を寄贈しました！(9/14)
 - ・これまでのプルトップ回収状況報告！
 - ・JCVのホームページに当ユニオンの活動が紹介されました！
 - ・みんなでつなぐプルトップの輪！ご協力者へお話を聞きました！



★JCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)特集

☆プルトップ募金を寄贈しました！(9/14)

9月14日、福田事務局長が東京にあるJCVの事務所を訪問し、プルトップ募金**19,274円**を寄贈しました。これは、昨年6月から本年8月までに各職場やご家庭および神鋼連合加盟組合で集めていただいたプルトップを換金したお金と、募金箱に集まったお金を合わせた金額で、**ポリオワクチンなら約481人の子供たちへ投与することができます。**

これに対し、JCVから、「従業員の方だけでなく、そのご家族およびグループ企業の組合のみなさん方に感謝します。何よりも、活動を継続して行われていることが大変に素晴らしいことです。」とのお礼の言葉がありました。

このプルトップ回収活動は、引き続き継続して行なっていくしますので、みなさまのご協力をよろしくお願いします。



▲JCV から贈られた感謝状

【プルトップ回収にご協力頂いた各団体のみなさん】

神鋼鋼線工業労組、神鋼病院労組、コベルコマテリアル銅管労組、コベルククレーン労組、コベルコ建機労組、神鋼特殊鋼管労組、神鋼労組本部(各支部のみなさん)、唐櫃少年野球部、その他個人支援のみなさん

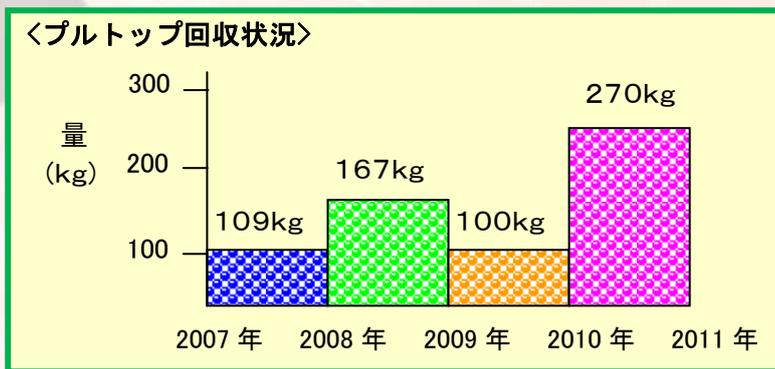
☆これまでのプルトップ回収状況報告！

活動を始めた2007年から、これまでに回収したプルトップの量は、合計で**646kg**になりました！

ポリオワクチンなら約1,159人の子供たちへ投与することができます。

- ・2007年～2008年 109kg 14,170円(130円/kg)
- ・2008年～2009年 167kg 10,000円(60円/kg)
- ・2009年～2010年 100kg 6,000円(60円/kg)
- ・2010年～2011年 270kg 16,200円(60円/kg)

※2008年以降は換金の単価が下がっています。



☆JCVのホームページに当ユニオンの活動が紹介されました！

この度のプルトップ募金を機に、JCVのホームページへ、当ユニオンの活動が紹介されました！JCVのホームページは、下記のURLよりご確認ください。

<http://jcv-jp.org/> (ページトップの『最新情報』の2011年10月5日付をご覧ください。)

☆みんなでつなぐプルトップの輪！ご協力者へお話を聞きました！

多くの方にご協力いただいているプルトップ回収ですが、その中でも継続して多くのプルトップを回収していただいている方、および神鋼連合加盟組合の方へ、どのような方法で回収しているのか、どのような想いで回収しているのか、などを聞いてみました。



【お聞きした項目】

- ①どのように回収しているのですか？
(ご家族、お友達へ声を掛けている？どのように言っている？)
- ②どのような想いで回収しているのですか？
- ③プルトップ回収以外でもボランティアをされていれば何をされていますか？
- ④今後もさらにプルトップの輪を拡大するために、どのように取り組まれていますか？
- ⑤当ユニオンに期待・要望があれば教えてください。

(株)神鋼環境ソリューション 水処理事業部 第一営業部
担当部長 石丸 豊 氏

①主に家族。特に実家(東大阪市)の母が、積極的に広く声掛けして回収に協力しています。独立している子供たちも協力してくれていますが、回収量の変化を見ると、どうもアルコール飲料の量が増えているのではないかと心配になります。(笑)

②一人の小さな行為が、善意の連鎖となり、それが世界に広がっていき思いやりの連鎖を生むとの想いです。

一つのエピソードですが、母のプルトップ回収にかかわっている方の一人に、町内に落ちている空き缶を集めている、少し障害を持たれている青年がいるとのこと。

母は日ごろ道端に捨ててある空き缶を拾い、プルトップだけを外しているため、空き缶の本体はビニル袋に入れてまとめているのですが、母がその青年に「おばちゃんはプルトップだけ集めているから、この缶はあなたにあげる」と言って渡してあげたそうです。その後しばらくしてその青年がひょっこり現れ、母に袋いっぱいものプルトップを渡していたとのこと。こんな出会いや連鎖もあると思うと、本当に心が温かくなりますね。

③入社してすぐにボーイスカウト活動していたことから、神戸市教育委員会に事務局をおく、「神戸市野外活動地域職域指導者協議会」という地域の青少年活動を支援するボランティアサークルのメンバーとして活動していました。しかしメンバーもだんだんと高齢化し、会員が体力的な限界を覚えるなどして、協議会自体が10年ほど前に活動停止しました。

今は、小さなことですが、プルトップ回収運動と同じように使用済み切手を収集し、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)の保健医療活動支援事業に協力しています。

そろそろ定年後を意識するようになり、もっと自分にできる「何か」を考えています。

④母の方からも、友人、知人に話しをしてっていますが、活動内容が良くわかるリーフレットのようなものがあれば、より説明しやすいし理解が得られるので作成を検討して欲しい。(ユニオンより写真のリーフレットをお渡しさせていただきました。)



▲石丸部長(写真右)とお母様(写真左)



(株)神鋼環境ソリューション 調達部

伊藤 美恵さんとご家族

①小学校で車椅子の購入資金としてプルトップを集めて寄贈しているとのこと。近近所のママ友達は、以前からプルトップを小学校に渡していたようですが、うちの組合では、恵まれない子供たちへワクチンを投与することに役立っているということを伝えると、「一人でも子供が助かるのであれば、そっちの方がいい」と言って、さらに周りのママ友にも伝えていただき、大量のプルトップを回収することができています。

②子供が一人でも多く助かり、生きてくれたら嬉しいと思います。

④まずはママ友達から、できる限り声をかけてプルトップの輪を広げていこうと思います。

◀ 伊藤さん(写真右)とご家族のみなさん

神鋼鋼線工業労組

書記長 吉田 仁志 氏

①常議員を中心に各職場での回収を行っています。具体的には、休憩室のコーヒー・ジュース等のプルトップを集めています。家から持参される方や定期的に持ち寄っていただく方もおられます。

②我々のできることで、小さな命が助かるのであればとの想いです。

③神鋼連合の取り組みである、エコキャップの回収にも力を入れています。また、事業所近くの清掃等も年に2回程度行っています。

④まずは、事業所内でのプルトップ回収率をあげることに加え、自宅だけではなく、実家・親戚等からも回収するような取り組みにしたいと考えています。

⑤この取り組みを始められた先人の思いを断ち切ることなく、飛躍・発展させる努力に敬意を表すると共に、継続されることを切に願います。

また、我々鋼線労組も同様に継続することで、取り組みを盛り上げたいと考えております。頑張ってください！



▲吉田さん(写真左)と東さん(写真右)

大量のプルトップを寄贈いただきました！